

最高の知識と技を刻み込め



紙の教科書では表現しきれない内容も、
学生に確実に伝えることができます。

Case 2

学校法人 山野学苑
山野医療専門学校様

心身のバランスを整える技やノウハウを、
教科書だけから学びとるのは難しい。
特に実技指導が重要視される科目では、
手本となる技を何度も繰り返し見たい。そんな願いが簡単になう時代になった。

使用しているサービス&ソリューション

Samsung GALAXY Tab

docomo LTE X

打撲・捻挫・脱臼・骨折などの治療を行う柔道整復師を育成する「山野医療専門学校」は、2013年4月から約180名の全学生に一人1台ずつタブレットを導入した。教科書では平面でしか見られなかった筋肉や骨の構造と動きが、タブレットなら3D画像アプリを使ってあらゆる角度から確認でき、学生から「わかりやすい」と好評だ。

その後、使う頻度が高まったのが「タブレットによる実技撮影です」と専任教員の鈴木忠慶氏は言う。「たとえば私が足首に包帯を巻く手本を示す、それを生徒が好きな角度から撮影し、何度も反復学習してベストな巻き方のイメージを定着させていく——この効果がとても大きいのです」。

それまでは実技の動画撮影に、機材の用意や編集などで多くの手間と時間をかけていたが、タブレットなら誰でも手軽に撮影できる。必要な部分の切り出しやスロー再生、繰り返しも自由自在。学生がそれぞれ別な角度から撮影した実技動画を交換し合い、苦手なポイントや細部の確認に役立てている。時間と場所を選ばないイメージトレーニングの成果は、生徒の理解力を着実に向上させ、肩、肘、手足首などの包帯の巻き方のテストで合格率が大幅にアップするという形で現れているという。「大画面であるうえに、拡大・縮小・回転などが直感的に行えるタブレットは、骨格や筋肉、MRIなどの精細な画像、あるいは動画を多用する医療系



タブレット映像をプロジェクターに映し出せば、
説明したいポイントが一目瞭然。

の教育機関において、もはや欠かせないツールの一つになっています。導入後約1年が経ちましたが、学生の探究心や主体性が確実に増してきたことで、タブレット導入は大成功だったと確信しています」と語るのは、副校長を務める医学博士の杉崎哲朗氏。

入学したばかりの1年生は専門知識が不十分であることから、これまで教員が板書した文字や図をノートに正確に書き取れないことが多かった。しかし今は画角の広いタブレットカメラでホワイトボード全体を撮影でき、あとから文字や強調色を加えることができる。これにより授業内容を正確に記録し、再指導の際にも教員と学生双方で課題

の整理がしやすくなった。

「学校という限られた場所でしか学習機会を持てない世界から脱却し、自宅でも通学途中でも、学びたいと思った時に学べる環境を提供できたことがうれしいですね。通信エリアの広いドコモの高速回線のおかげです」と笑うのは、広報担当部長の中谷輝弘氏。新しい学びの提案と実践は、学生たちの学習意欲をさらに高めていこう。

「探究心や主体性が確実に増しています。
タブレット導入は大成功でした」

副校長 事務局長 医学博士
杉崎 哲朗氏

広報担当部長
中谷 輝弘氏